

## ▽学校紹介▲山口県立大津緑洋高等学校▲▽

### 九州関門地方支部

2011(H23)年4月に長門市内の県立高校3校(大津・日置農業・水産)を統合して新設された大津緑洋高校。1月22日に仙崎港から実習船「海友丸」で、太平洋でのマグロはえ縄漁操業実習のため、遠洋航海に出航した生徒たちは、山口県立大津緑洋高等学校に在籍している。

校訓は「自主・創造・飛躍」海に学び、海を活かす教育を展開、多様な価値観を踏まえた創造性豊かで挑戦し続ける人材の育成を行っている。将来の士官を目指す専攻科や、大学にも進学できる

#### ■2学年からコースが分かれる

本科	2・3年次	備考
<海洋技術科>	航海コース	漁業者や航海士を養成する
	機関コース	機関士を養成する
<海洋科学科>	「魚」や「食」のスペシャリストを目指す	
	マリンバイオコース	魚介類を育てる喜びや水産資源の大切さを学ぶ
	マリンフードコース	食の未来を科学する

#### ■本科3年間の学校生活で取得できる資格

第二級海上特殊無線技士	
一級小型船舶操縦士	
四級海技士	実習(※)を経て筆記免除(航海・機関)で取得ができる ※漁業実習船「海友丸」長崎県・福岡県・山口県の3県が共同運航している

#### ■卒業後の主な進路

就職	海運業や漁業
進学	専攻科、水産大学校、国立海上技術短期大学

「海員だより」

—。—。—。—三県共同運航における実習船教育を推進するために為すべきこと—。—。—。

山口県立大津緑洋高等学校 水産校舎

「海友丸」は長崎、福岡、山口の三県共同運航実習船で竣工は2010(H22)年

#### 実習船教育を推進するために

管理、運営する基本	緊密な連携	三県の高校 教育委員会 実習船「海友丸」の乗組員
	意見の共有	教育部会 管理運営部会 人事部会

三県の高校の生徒、指導教官、乗組員と多くの者が関わって、さまざまな人間関係が生まれ、幅広い教育活動が行われる。実習船「海友丸」は、船舶職員、船員としてのコミュニケーション能力やリーダーシップなどを育成する教育環境としては最適である。

■運航計画確定までの流れ

月	会議	内容
6	教育部会の実務担当者(三県高校の担当者)会議	次年度運航計画案を策定
7	第1回教育部会(三県の教育委員会担当者が加わる)	次年度運航計画案を固める
8	第1回拡大教育部会(船長等士官や指導教官が加わる)	次年度運航計画案を提案
11	実務担当者会議 (管理運営部会、人事部会の担当者が加わる)	第1回拡大教育部会協議後の次年度運航計画案を提案
		協議後の案を「最終案」として連絡調整会議(三県の高次教育課長と校長が出席)に提案し確定する

■教育部会の取り組み

-重要事項-

- ・充実した実習船教育になること
- ・海技士養成施設として資格取得を確実にできること

■乗船実習の検証

各校の乗船実習後、報告会を実施し検証を行い、実習の改善を行うように努める

「海員だより」